



開始方法

この章では、Cisco SCA BB Service Configuration API (Service Configuration API) のインストール、コンパイル、および実行方法について説明します。

- システム要件 (p.2-1)
- パッケージのインストール方法 (p.2-2)
- Service Configuration API のコンパイルおよび実行 (p.2-3)
- Service Control Engine プラットフォームの設定 (p.2-4)

システム要件

Service Configuration API は、Win32、Solaris、および Linux プラットフォーム上で稼働させることができます。

Service Configuration API を使用して Java プログラムをコンパイルしたり実行したりするには、JDK および JRE のバージョン 1.4 または 1.5 が必要です。



(注)

Java 1.5 で API を使用するには、特殊な JRE オプションが必要です (「[Java 1.5 を使用した Service Configuration API の実行](#)」 [p.2-3] を参照)。

パッケージのインストール方法

- [パッケージのインストール \(p.2-2\)](#)
- [インストール内容 \(p.2-2\)](#)

パッケージのインストール

Service Configuration API は、SCA BB インストールパッケージ内の **serviceconfig-java-api-dist.tgz** ファイルに含まれています。

Service Configuration API をインストールするには、(フォルダ構造はそのまま) TGZ ファイルを解凍し、任意の空のフォルダに格納します。

- Win32 プラットフォームでは、一般的な Windows 圧縮ユーティリティを使用してファイルを抽出します。
- Linux または Solaris プラットフォームでは、次を使用します。

```
#>tar -xvfpz serviceconfig-java-api-dist.tgz
```

Service Configuration API はインストールされ、使用できる状態です。

インストール内容

Service Configuration API のディストリビューションパッケージを使用すると、次のフォルダおよびファイルがインストールされます。

- **<installation folder>**
- **<installation folder>\doc**
 - **serviceconfig-javadoc.zip** — Service Configuration API の Javadoc 文書
- **<installation folder>\lib**
 - **serviceconfigapi.jar** — Service Configuration API のライブラリ
 - **jdmkrt.jar**

このフォルダには、Service Configuration API の動作に必要な追加のライブラリ JAR ファイルが含まれます。

Service Configuration API のコンパイルおよび実行

- [Service Configuration API のコンパイルおよび実行 \(p.2-3\)](#)
- [Java 1.5 を使用した Service Configuration API の実行 \(p.2-3\)](#)

Service Configuration API のコンパイルおよび実行

Service Configuration API を使用するプログラムをコンパイルしたり実行したりするには、CLASSPATH 内の **serviceconfigapi.jar** が必要です。

たとえば、プログラムのソースが **MyApiClass.java** 内にある場合、完了すべきコマンドラインは次のようになります。

```
#>javac -classpath .;<installation folder>\lib\serviceconfigapi.jar MyApiClass.java
```

プログラムを実行する場合、コマンドラインは次のようになります。

```
#>java -cp .;<installation folder>\lib\serviceconfigapi.jar MyApiClass
```

Java 1.5 を使用した Service Configuration API の実行

Java 1.5 を使用した Service Configuration API を実行するには、一部のライブラリのクラスを boot classpath 内の JRE クラスより上位に置く必要があります。次の引数をコマンドラインに追加します。

```
-Xbootclasspath/p:<installation folder>/lib/jdmkrt.jar
```

例：

```
#>java -Xbootclasspath/p:<installation folder>/lib/jdmkrt.jar -cp .;<installation folder>/lib/serviceconfigapi.jar MyApiClass
```

Service Control Engine プラットフォームの設定

ここでは、適切な Service Configuration API 機能を実現するために Service Control Engine (SCE) プラットフォーム上で実行するコンフィギュレーションについて説明します。

- [SCA BB の設定 \(p.2-4\)](#)
- [PRPC サーバ \(p.2-4\)](#)

SCA BB の設定

Service Configuration API は、SCE プラットフォームにインストールすべき SCA BB の設定を行います。詳細については、『*Cisco Service Control Application for Broadband User Guide*』を参照してください。

PRPC サーバ

Service Configuration API は、SCE への接続用のトランスポートプロトコルとして Proprietary Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) を使用します。PRPC は、シスコが設計した独自の RPC プロトコルです。詳細については、『*Cisco SCMS SCE Subscriber API Programmer's Guide*』を参照してください。

Service Configuration API を使用する前に、次のことを確認してください。

- SCE が起動および実行されており、Service Configuration API をホスティングする機器から通信を行えること
- SCE 上の PRPC サーバが起動していること